

第 3 次射水市総合計画策定に関する 市民意識調査 結果報告書 【概要版】

目 次

1 調査の概要	1
2 集計結果の概要	2
(1)回答者の属性	2
(2)射水市の住み心地	3
(3)射水市での定住意向	4
(4)施策の満足度・重要度	9
(5)射水市のイメージ	12
(6)人口減少・少子高齢化の影響	15
(7)新型コロナウイルス感染症拡大の影響	17
(8)SDGs への関心	20

1 調査の概要

(1)調査の目的

第3次射水市総合計画の策定にあたり、市民の意識変化やこれまでのまちづくりに対する評価を検証するとともに、10年後の射水市の姿をまち全体で共有し、その実現に向けた施策の検討を行うため、市民の意見を伺うことを目的として実施した。

(2)調査対象

18歳以上の市民 5,000人

(3)調査方法

配付:郵送配付

回収:以下のいずれかの方法にて回答

ア)調査票に記入し、同封の返信用封筒にて回収

イ)パソコンもしくはスマートフォンにて回答(調査票からWEB回答ページに誘導)

(4)調査期間

令和3年8月23日～9月30日

(5)回収結果

配付数	回収数		回収率	
	5,000票	調査票	1,514票	調査票
WEB		615票	WEB	12.3%
計		2,129票	計	42.6%

(6)標本誤差

回答の比率	90% 又は 10%	80% 又は 20%	70% 又は 30%	60% 又は 40%	50%
標本誤差	±1.3%	±1.7%	±1.9%	±2.0%	±2.1%

※標本誤差とは、全数調査を行った場合に得られたはずの値と調査結果との差をいう。以下の式で求められる。

$$b = 2 \sqrt{\frac{N - n}{N - 1} \times \frac{P(1 - P)}{n}}$$

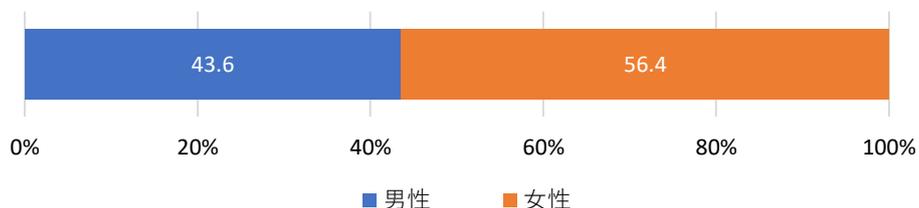
b = 標本誤差
N = 母集団数
n = 回収数 (比率算出の基数)
P = 回答の比率 (%)

2 集計結果の概要

(1)回答者の属性

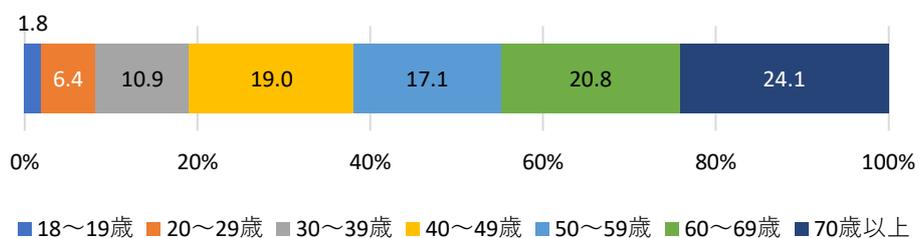
【性別】

- 回答者の性別は、「男性」が43.6%、「女性」が56.4%。



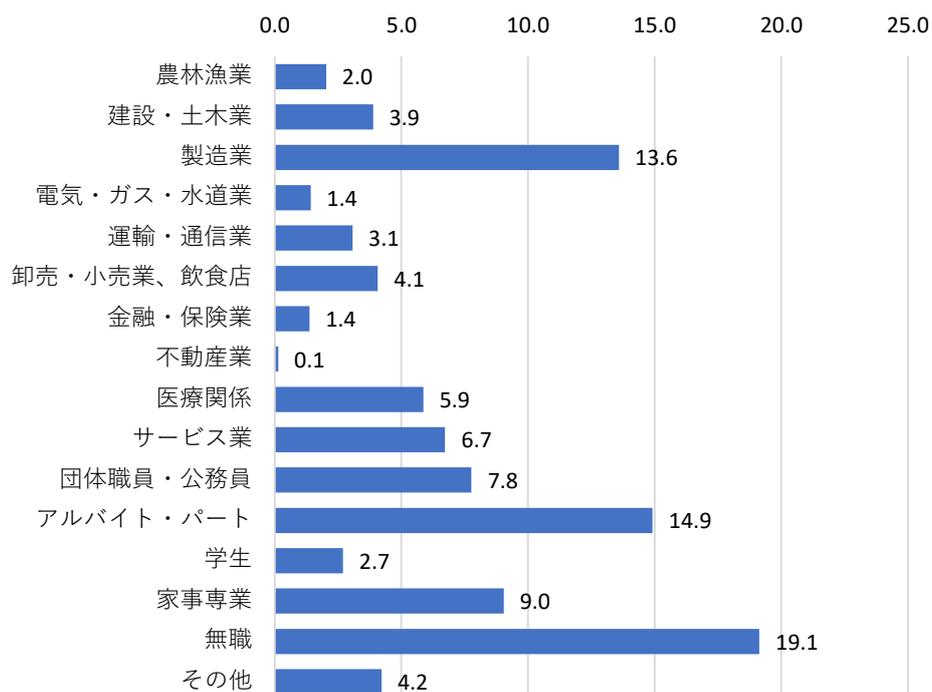
【年齢】

- 回答者の年齢は、「70歳以上」が24.1%で最も高く、次いで「60～69歳」(20.8%)、「40～49歳」(19.0%)と続く。



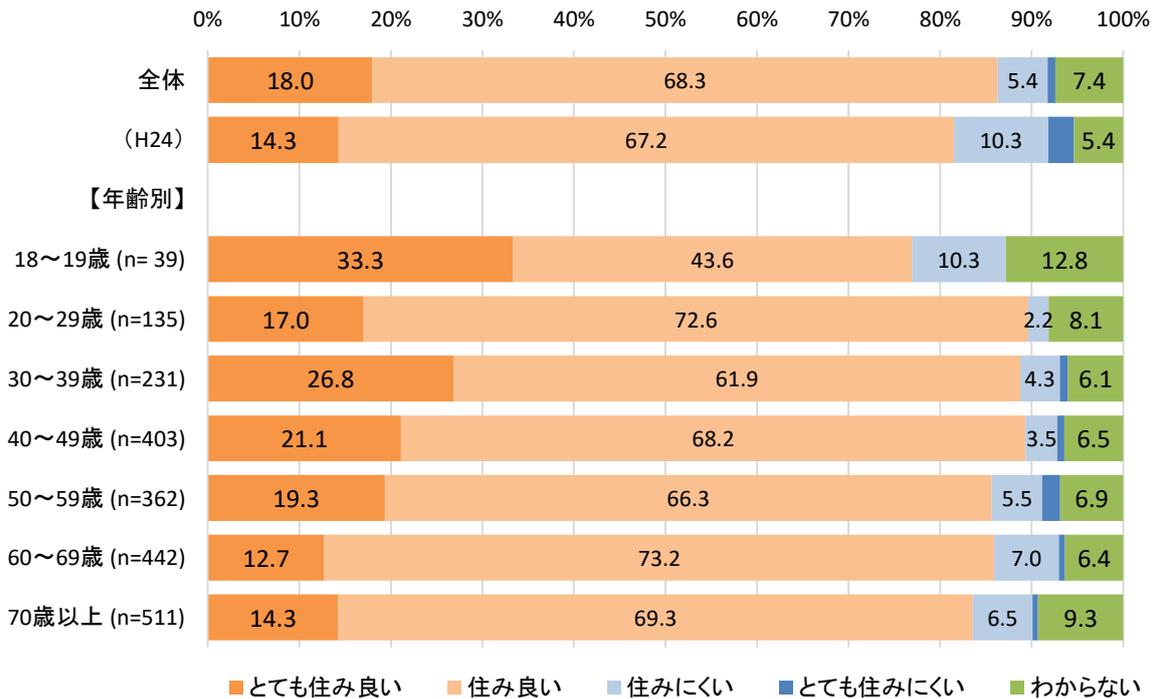
【職業】

- 回答者の職業は、「無職」が19.1%で最も高く、次いで「アルバイト・パート」(14.9%)、「製造業」(13.6%)と続く。



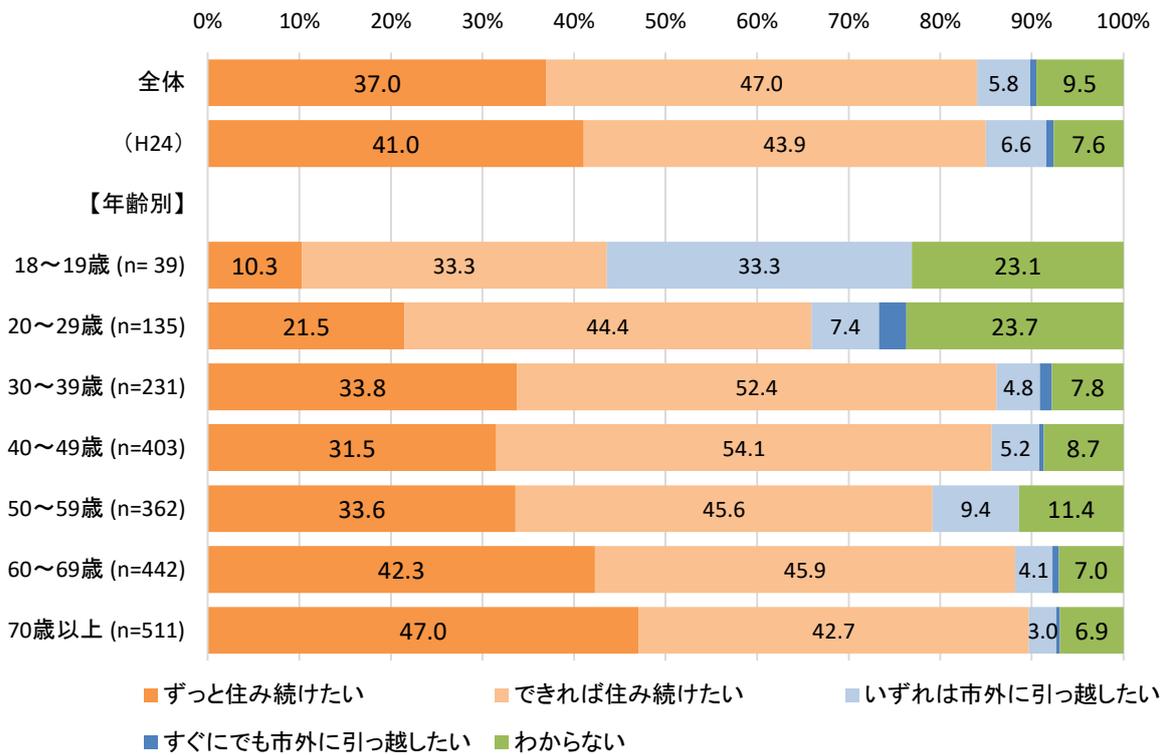
(2)射水市の住み心地

- 「とても住み良い」が18.0%、「住み良い」が68.3%、合わせると86.3%が肯定的。
- 肯定的回答は、年代による大きな違いはみられない。「とても住み良い」は若い年代ほど高い傾向がみられる。
- 前回(平成24年実施)と比べると、「とても住み良い」が3.7ポイント増、「住み良い」が1.1ポイント増となっている。



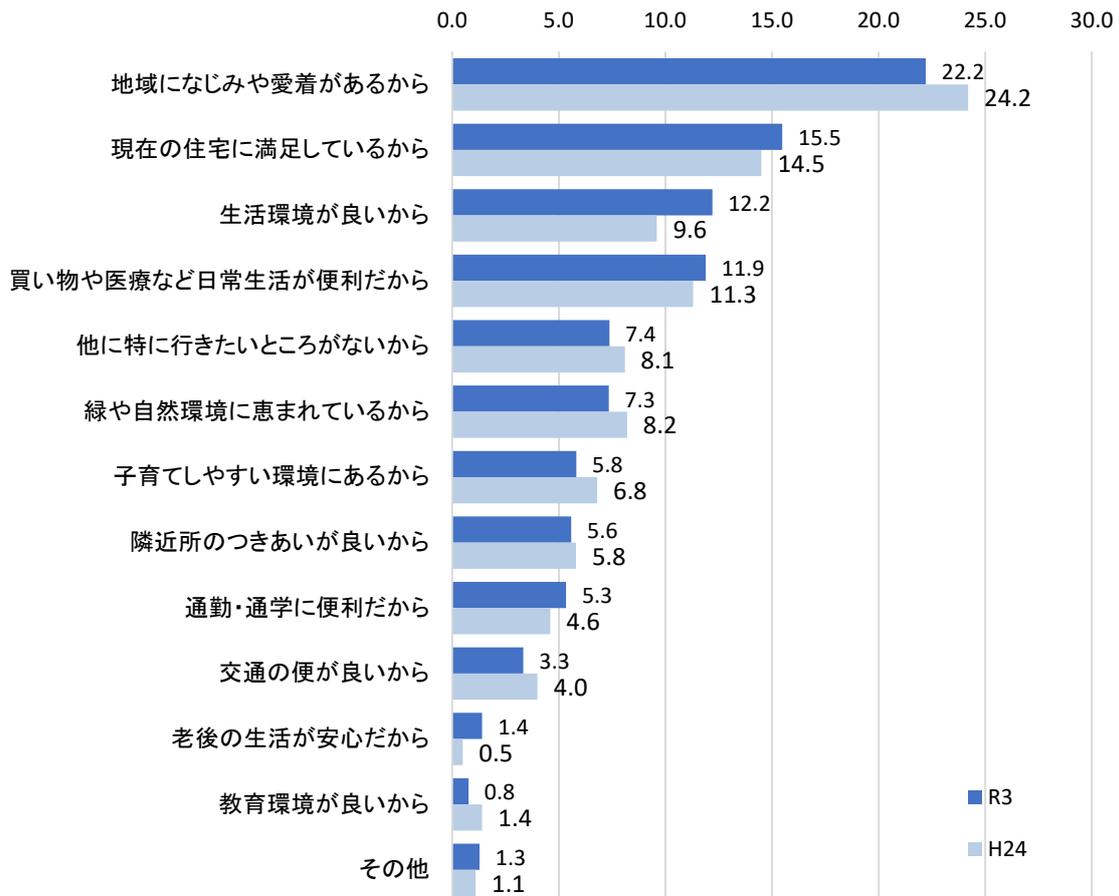
(3)射水市での定住意向

- 「ずっと住みたい」が37.0%、「できれば住みたい」を合わせると84.0%が『住みたい』と回答。
- 年代が高いほど「ずっと住みたい」の割合が高い傾向がみられる。30代以降は『住みたい』が9割前後。
- 前回と比べると、「ずっと住みたい」が4.0ポイント減少、「できれば住みたい」が3.1ポイント増加し、それらを合わせた『住みたい』は0.9ポイント減少となっている。



■住み続けたい理由

- 「地域になじみや愛着があるから」、「現在の住宅に満足しているから」の割合が高い。
- 30代では「子育てしやすい環境にあるから」の割合が最も高い。
- 10代では「緑や自然環境に恵まれているから」の割合が他の年代に比べて高い。
- 前回と比べると、「生活環境がよいから」が2.6ポイント増加し、「地域になじみや愛着があるから」が2.0ポイント減少している。

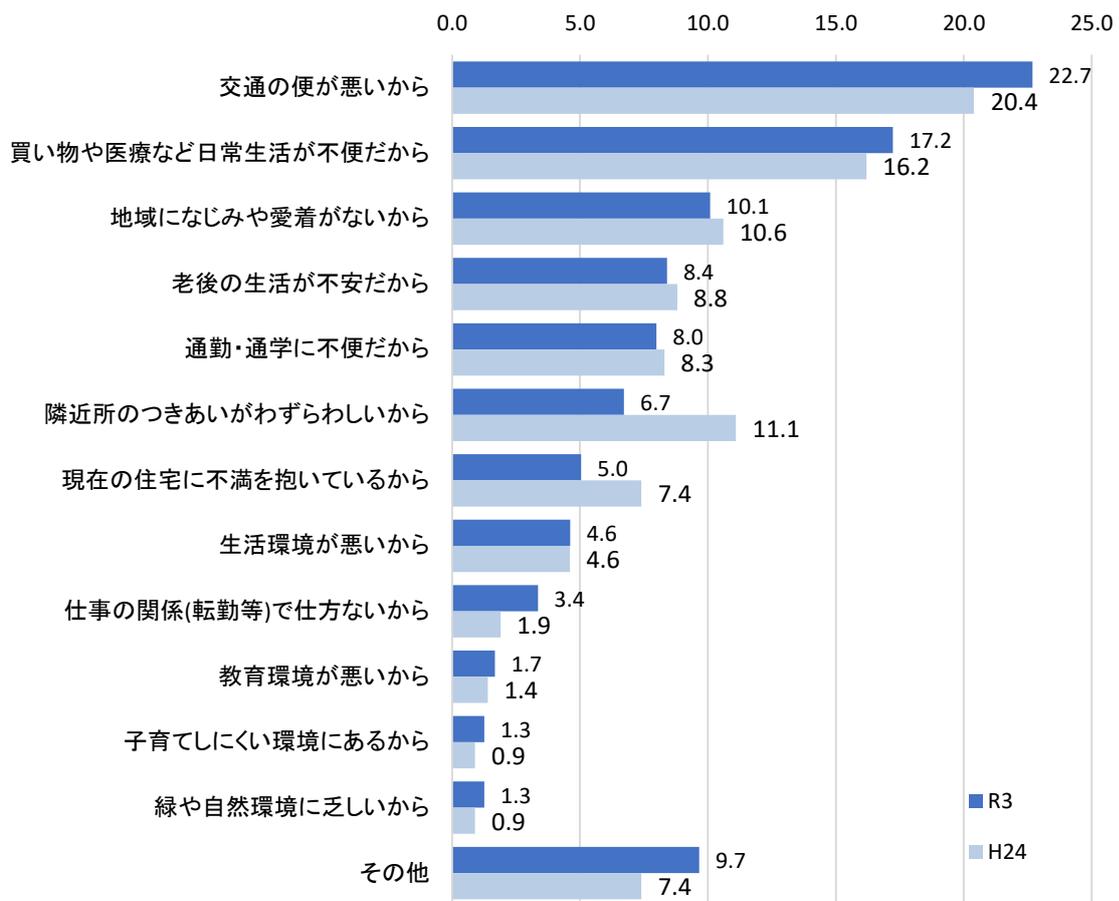


【年齢別クロス集計(上位 5 項目)】

18～19歳 (n=17)			50～59歳 (n=285)		
1	地域になじみや愛着があるから	38.7	1	地域になじみや愛着があるから	23.2
2	緑や自然環境に恵まれているから	29.0	2	生活環境が良いから	14.8
3	生活環境が良いから	9.7	3	現在の住宅に満足しているから	14.6
4	現在の住宅に満足しているから	6.5	4	買い物や医療など日常生活が便利だから	11.3
5	買い物や医療など日常生活が便利だから	6.5	5	緑や自然環境に恵まれているから	8.4
20～29歳 (n=89)			60～69歳 (n=388)		
1	地域になじみや愛着があるから	22.4	1	地域になじみや愛着があるから	24.8
2	買い物や医療など日常生活が便利だから	14.7	2	現在の住宅に満足しているから	17.4
3	生活環境が良いから	12.4	3	買い物や医療など日常生活が便利だから	12.8
4	現在の住宅に満足しているから	11.8	4	生活環境が良いから	12.5
5	子育てしやすい環境にあるから	9.4	5	他に特に行きたいところがないから	8.7
30～39歳 (n=199)			70歳以上 (n=454)		
1	子育てしやすい環境にあるから	16.7	1	地域になじみや愛着があるから	24.6
2	地域になじみや愛着があるから	16.2	2	現在の住宅に満足しているから	16.6
3	現在の住宅に満足しているから	14.9	3	買い物や医療など日常生活が便利だから	12.3
4	通勤・通学に便利だから	11.7	4	緑や自然環境に恵まれているから	11.0
5	買い物や医療など日常生活が便利だから	11.4	5	生活環境が良いから	9.7
40～49歳 (n=345)					
1	地域になじみや愛着があるから	17.9			
2	現在の住宅に満足しているから	14.2			
3	生活環境が良いから	14.2			
4	子育てしやすい環境にあるから	13.4			
5	買い物や医療など日常生活が便利だから	10.7			

■引っ越したい理由

- 「交通の便が悪いから」、「買い物や医療など日常生活が不便だから」の割合が高い。
- 70 歳以上では、7 割以上の方が「交通の便が悪いから」を理由に挙げている。
- 10 代、30 代では、「通勤・通学に不便だから」が上位に、50 代および 70 歳以上では、「老後の生活が不安だから」が上位にきている。
- 前回と比べると、「隣近所のつきあいがわずらわしいから」が 4.4 ポイント減少、「現在の住宅に不満を抱いているから」が 2.4 ポイント減少している。



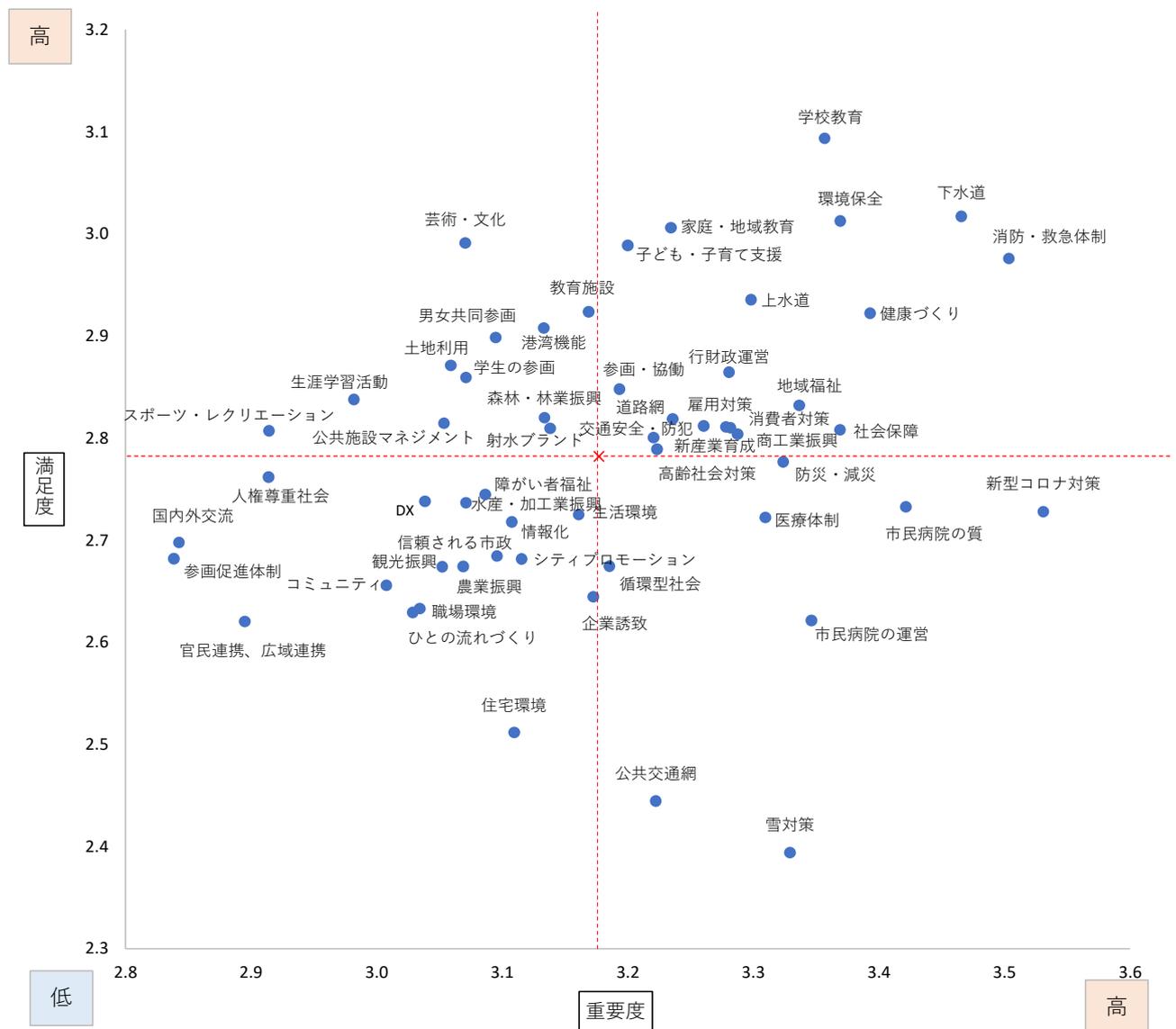
【年齢別クロス集計(上位3項目)】

18～19歳 (n=13)			50～59歳 (n=34)		
1	通勤・通学に不便だから	31.6	1	交通の便が悪いから	24.5
2	交通の便が悪いから	21.1	2	買い物や医療など日常生活が不便だから	15.1
3	買い物や医療など日常生活が不便だから	15.8	2	老後の生活が不安だから	15.1
3	その他	15.8	-	-	-
20～29歳 (n=14)			60～69歳 (n=21)		
1	交通の便が悪いから	21.7	1	買い物や医療など日常生活が不便だから	24.4
1	現在の住宅に不満を抱いているから	21.7	2	交通の便が悪いから	22.0
3	地域になじみや愛着がないから	17.4	3	地域になじみや愛着がないから	14.6
30～39歳 (n=14)			70歳以上 (n=17)		
1	地域になじみや愛着がないから	21.7	1	交通の便が悪いから	36.4
2	その他	17.4	2	買い物や医療など日常生活が不便だから	27.3
3	通勤・通学に不便だから	13.0	3	老後の生活が不安だから	15.2
40～49歳 (n=23)					
1	買い物や医療など日常生活が不便だから	20.5			
2	交通の便が悪いから	18.2			
3	地域になじみや愛着がないから	11.4			

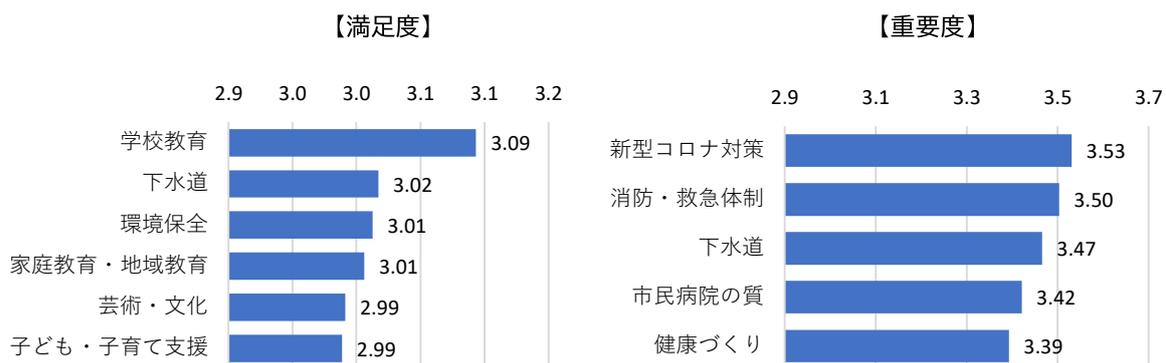
(4) 施策の満足度・重要度

第2次総合計画に掲げる49の施策について、満足度と重要度をそれぞれ評価したもの。

- 満足度が高い施策は、「学校教育」、「下水道」、「環境保全」など。
- 重要度が高い施策は、「新型コロナ対策」、「消防・救急体制」、「下水道」など。
- 満足度が低く、重要度が高い施策は、「雪対策」、「公共交通網」、「市民病院の運営」、「市民病院の質」、「新型コロナ対策」など。
- 前回と比べて満足度が増加した項目は、「雇用対策」(+0.48)、「行財政運営」(+0.36)、「土地利用」(+0.34)などとなっている。一方、満足度が減少した項目は、「雪対策」(-0.17)、「公共交通網」(-0.07)、「上水道」(-0.07)などとなっている。



■満足度・重要度_上位5項目



■前回より増加した項目(上位5項目)

満足度			重要度		
1	雇用対策	+0.48	1	参画と協働	+0.39
2	行財政運営	+0.36	2	健康づくり	+0.32
3	土地利用	+0.34	3	環境保全	+0.24
4	学校教育	+0.33	4	森林業振興	+0.23
5	新産業育成	+0.30	5	情報化	+0.21

■前回より減少した項目(上位5項目)

満足度			重要度		
1	雪対策	-0.17	1	教育施設	-0.26
2	公共交通網	-0.07	2	子ども・子育て支援	-0.25
3	上水道	-0.07	3	人権尊重社会	-0.19
4	循環型社会	-0.05	4	医療体制	-0.19
5	子ども・子育て支援	-0.04	5	生涯学習活動	-0.13

【満足度__年齢別クロス集計(上位 5 項目)】

18～19歳 (n=39)			50～59歳 (n=362)		
1	環境保全	3.61	1	学校教育	3.08
2	芸術・文化	3.51	2	環境保全	3.05
3	学校教育	3.44	3	子ども・子育て支援	3.03
4	土地利用	3.42	4	家庭教育・地域教育	3.01
5	家庭教育・地域教育	3.41	5	下水道	2.96
20～29歳 (n=135)			60～69歳 (n=442)		
1	学校教育	3.36	1	下水道	2.98
2	環境保全	3.28	2	上水道	2.95
3	男女共同参画	3.16	3	学校教育	2.94
4	家庭教育・地域教育	3.14	4	消防・救急体制	2.92
5	芸術・文化	3.13	5	子ども・子育て支援	2.89
30～39歳 (n=231)			70歳以上 (n=511)		
1	学校教育	3.35	1	上水道	3.15
2	環境保全	3.29	2	下水道	3.09
3	芸術・文化	3.22	3	消防・救急体制	3.02
4	土地利用	3.17	4	健康づくり	2.95
5	家庭教育・地域教育	3.16	5	教育施設	2.93
40～49歳 (n=403)					
1	学校教育	3.21			
2	環境保全	3.19			
3	芸術・文化	3.13			
4	家庭教育・地域教育	3.11			
5	土地利用	3.09			

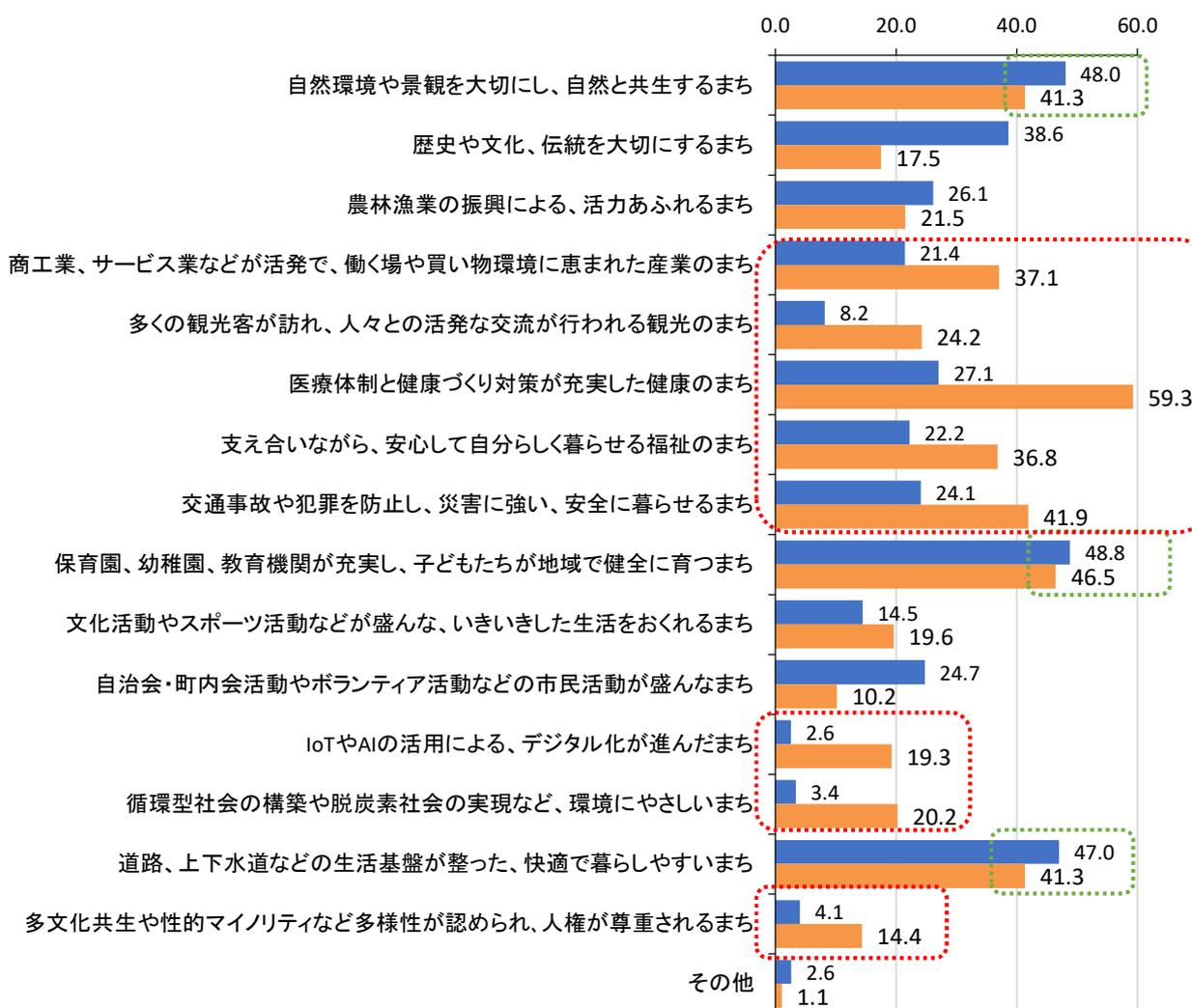
【重要度__年齢別クロス集計(上位 5 項目)】

18～19歳 (n=39)			50～59歳 (n=362)		
1	新型コロナ対策	3.77	1	消防・救急体制	3.49
2	消防・救急体制	3.74	2	新型コロナ対策	3.47
3	市民病院の質	3.72	3	下水道	3.44
4	学校教育	3.72	4	健康づくり	3.41
5	健康づくり	3.69	5	市民病院の質	3.39
20～29歳 (n=135)			60～69歳 (n=442)		
1	学校教育	3.61	1	新型コロナ対策	3.58
2	新型コロナ対策	3.60	2	消防・救急体制	3.52
3	環境保全	3.60	3	下水道	3.46
4	市民病院の質	3.57	4	雪対策	3.45
5	消防・救急体制	3.49	5	市民病院の質	3.43
30～39歳 (n=231)			70歳以上 (n=511)		
1	環境保全	3.58	1	新型コロナ対策	3.66
2	学校教育	3.54	2	下水道	3.54
3	消防・救急体制	3.47	3	消防・救急体制	3.54
4	下水道	3.44	4	雪対策	3.52
5	新型コロナ対策	3.41	5	上水道	3.52
40～49歳 (n=403)					
1	消防・救急体制	3.47			
2	環境保全	3.42			
3	下水道	3.42			
4	健康づくり	3.41			
5	新型コロナ対策	3.41			

(5)射水市のイメージ

射水市のイメージを下記の15項目から、現在のイメージと将来にふさわしいイメージを選択してもらったもの。

- 現在、将来ともにイメージが高い(これからも引き継ぎたい)項目は、「保育園、幼稚園、教育機関が充実し、子どもたちが地域で健全に育つまち」、「自然環境や景観を大切にし、自然と共生するまち」、「道路、上下水道などの生活基盤が整った、快適で暮らしやすいまち」など。(緑囲み枠部分)
- 現在と将来のイメージのギャップが大きい(今後、力を入れていくべき)項目は、「医療体制と健康づくり対策が充実した健康のまち」、「交通事故や犯罪を防止し、災害に強い、安全に暮らせるまち」、「循環型社会の構築や脱炭素社会の実現など、環境にやさしいまち」、「IoTやAIの活用による、デジタル化が進んだまち」、「商工業、サービス業などが活発で、働く場や買い物環境に恵まれた産業のまち」、「多くの観光客が訪れ、人々との活発な交流が行われる観光のまち」、「支え合いながら、安心して自分らしく暮らせる福祉のまち」など。(赤囲み枠部分)



【現在のイメージ_年齢別クロス集計(上位5項目)】

18～19歳 (n=39)		
1	自然環境や景観を大切にし、自然と共生するまち	56.4
2	保育園、幼稚園、教育機関が充実し、子どもたちが地域で健全に育つまち	41.0
3	農林漁業の振興による、活力あふれるまち	38.5
4	歴史や文化、伝統を大切にすまち	33.3
5	道路、上下水道などの生活基盤が整った、快適で暮らしやすいまち	30.8
20～29歳 (n=135)		
1	自然環境や景観を大切にし、自然と共生するまち	47.4
2	保育園、幼稚園、教育機関が充実し、子どもたちが地域で健全に育つまち	44.4
3	道路、上下水道などの生活基盤が整った、快適で暮らしやすいまち	35.6
4	歴史や文化、伝統を大切にすまち	32.6
5	農林漁業の振興による、活力あふれるまち	27.4
30～39歳 (n=231)		
1	保育園、幼稚園、教育機関が充実し、子どもたちが地域で健全に育つまち	52.4
2	自然環境や景観を大切にし、自然と共生するまち	34.6
3	道路、上下水道などの生活基盤が整った、快適で暮らしやすいまち	32.0
4	歴史や文化、伝統を大切にすまち	31.2
5	農林漁業の振興による、活力あふれるまち	27.3
40～49歳 (n=403)		
1	保育園、幼稚園、教育機関が充実し、子どもたちが地域で健全に育つまち	50.6
2	自然環境や景観を大切にし、自然と共生するまち	42.9
3	歴史や文化、伝統を大切にすまち	34.7
4	道路、上下水道などの生活基盤が整った、快適で暮らしやすいまち	31.8
5	農林漁業の振興による、活力あふれるまち	22.6
50～59歳 (n=362)		
1	自然環境や景観を大切にし、自然と共生するまち	50.3
2	道路、上下水道などの生活基盤が整った、快適で暮らしやすいまち	42.5
3	保育園、幼稚園、教育機関が充実し、子どもたちが地域で健全に育つまち	40.1
4	歴史や文化、伝統を大切にすまち	35.4
5	農林漁業の振興による、活力あふれるまち	24.9
60～69歳 (n=442)		
1	道路、上下水道などの生活基盤が整った、快適で暮らしやすいまち	50.5
2	自然環境や景観を大切にし、自然と共生するまち	46.2
3	保育園、幼稚園、教育機関が充実し、子どもたちが地域で健全に育つまち	45.2
4	歴史や文化、伝統を大切にすまち	38.0
5	交通事故や犯罪を防止し、災害に強い、安全に暮らせるまち	26.5
70歳以上 (n=511)		
1	道路、上下水道などの生活基盤が整った、快適で暮らしやすいまち	53.0
2	自然環境や景観を大切にし、自然と共生するまち	39.9
3	保育園、幼稚園、教育機関が充実し、子どもたちが地域で健全に育つまち	38.9
4	歴史や文化、伝統を大切にすまち	35.8
5	医療体制と健康づくり対策が充実した健康のまち	33.9

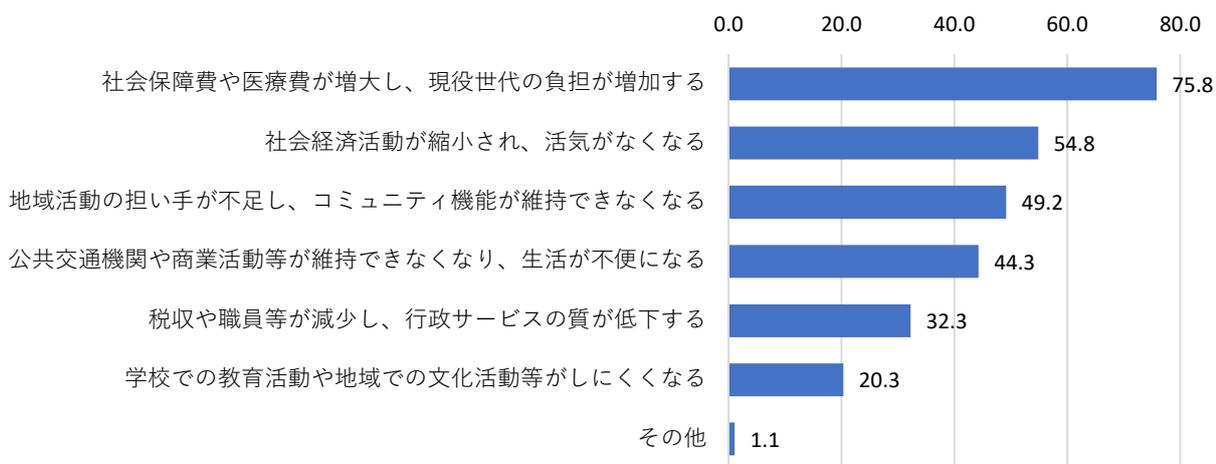
【将来のイメージ_年齢別クロス集計(上位5項目)】

18～19歳 (n=39)		
1	交通事故や犯罪を防止し、災害に強い、安全に暮らせるまち	56.4
2	医療体制と健康づくり対策が充実した健康のまち	53.8
3	自然環境や景観を大切にし、自然と共生するまち	51.3
4	商工業、サービス業などが活発で、働く場や買い物環境に恵まれた産業のまち	43.6
5	保育園、幼稚園、教育機関が充実し、子どもたちが地域で健全に育つまち	43.6
20～29歳 (n=135)		
1	医療体制と健康づくり対策が充実した健康のまち	54.1
2	保育園、幼稚園、教育機関が充実し、子どもたちが地域で健全に育つまち	51.1
3	交通事故や犯罪を防止し、災害に強い、安全に暮らせるまち	45.2
4	商工業、サービス業などが活発で、働く場や買い物環境に恵まれた産業のまち	38.5
5	自然環境や景観を大切にし、自然と共生するまち	37.8
30～39歳 (n=231)		
1	医療体制と健康づくり対策が充実した健康のまち	61.9
2	保育園、幼稚園、教育機関が充実し、子どもたちが地域で健全に育つまち	56.7
3	交通事故や犯罪を防止し、災害に強い、安全に暮らせるまち	41.6
4	商工業、サービス業などが活発で、働く場や買い物環境に恵まれた産業のまち	40.3
5	道路、上下水道などの生活基盤が整った、快適で暮らしやすいまち	35.9
40～49歳 (n=403)		
1	医療体制と健康づくり対策が充実した健康のまち	53.3
2	保育園、幼稚園、教育機関が充実し、子どもたちが地域で健全に育つまち	42.9
3	自然環境や景観を大切にし、自然と共生するまち	37.7
4	商工業、サービス業などが活発で、働く場や買い物環境に恵まれた産業のまち	37.2
5	交通事故や犯罪を防止し、災害に強い、安全に暮らせるまち	36.2
50～59歳 (n=362)		
1	医療体制と健康づくり対策が充実した健康のまち	57.2
2	交通事故や犯罪を防止し、災害に強い、安全に暮らせるまち	43.9
3	道路、上下水道などの生活基盤が整った、快適で暮らしやすいまち	42.0
4	保育園、幼稚園、教育機関が充実し、子どもたちが地域で健全に育つまち	40.1
5	自然環境や景観を大切にし、自然と共生するまち	35.9
60～69歳 (n=442)		
1	医療体制と健康づくり対策が充実した健康のまち	56.8
2	自然環境や景観を大切にし、自然と共生するまち	45.2
3	道路、上下水道などの生活基盤が整った、快適で暮らしやすいまち	44.6
4	保育園、幼稚園、教育機関が充実し、子どもたちが地域で健全に育つまち	44.3
5	交通事故や犯罪を防止し、災害に強い、安全に暮らせるまち	41.0
70歳以上 (n=511)		
1	医療体制と健康づくり対策が充実した健康のまち	53.0
2	自然環境や景観を大切にし、自然と共生するまち	38.4
3	保育園、幼稚園、教育機関が充実し、子どもたちが地域で健全に育つまち	38.2
4	支え合いながら、安心して自分らしく暮らせる福祉のまち	37.2
5	道路、上下水道などの生活基盤が整った、快適で暮らしやすいまち	37.0

(6)人口減少・少子高齢化の影響

射水市において人口減少や少子高齢化が進んだ場合の影響についてお聞きしたものを。

- 「社会保障費や医療費が増大し、現役世代の負担が増加する」が最も高く、次いで「社会経済活動が縮小され、活気がなくなる」、「地域活動の担い手が不足し、コミュニティ機能が維持できなくなる」と続く。
- すべての年代で「社会保障費や医療費が増大し、現役世代の負担が増加する」が最も高く、上位3項目は同じ項目が入る。



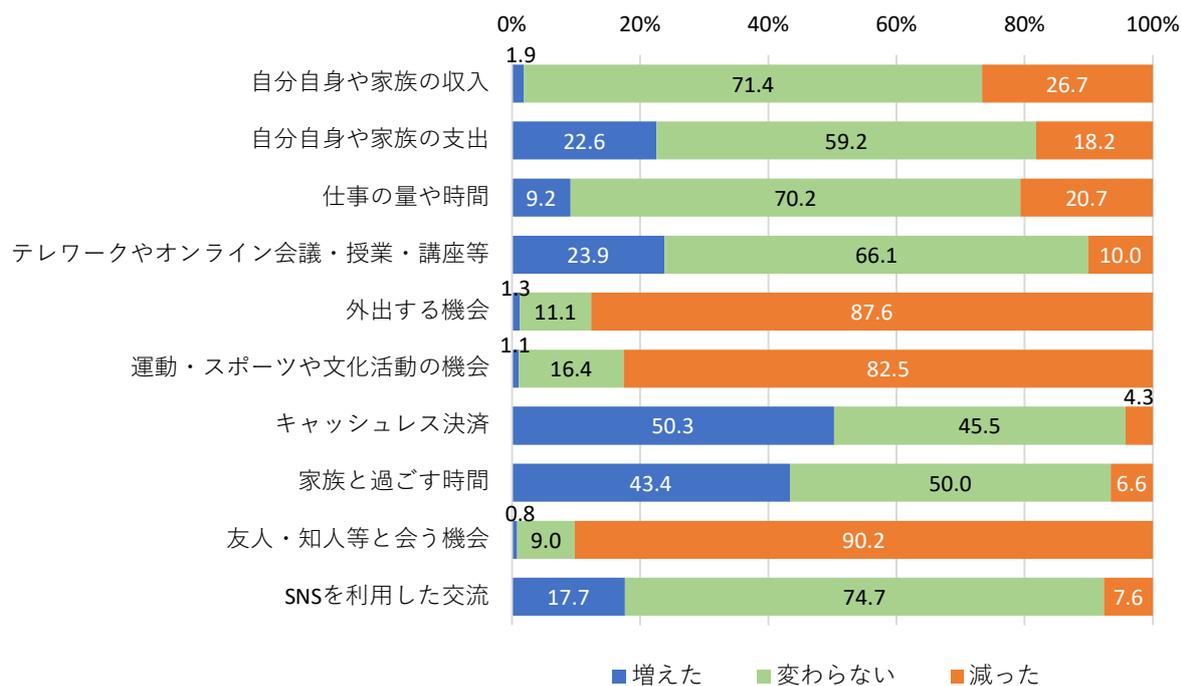
【年齢別クロス集計(上位3項目)】

18～19歳 (n=39)		
1	社会保障費や医療費が増大し、現役世代の負担が増加する	76.9
2	社会経済活動が縮小され、活気がなくなる	56.4
3	地域活動の担い手が不足し、コミュニティ機能が維持できなくなる	51.3
20～29歳 (n=135)		
1	社会保障費や医療費が増大し、現役世代の負担が増加する	71.9
2	社会経済活動が縮小され、活気がなくなる	52.6
3	地域活動の担い手が不足し、コミュニティ機能が維持できなくなる	45.2
30～39歳 (n=231)		
1	社会保障費や医療費が増大し、現役世代の負担が増加する	66.7
2	社会経済活動が縮小され、活気がなくなる	51.9
3	地域活動の担い手が不足し、コミュニティ機能が維持できなくなる	40.3
40～49歳 (n=403)		
1	社会保障費や医療費が増大し、現役世代の負担が増加する	73.4
2	地域活動の担い手が不足し、コミュニティ機能が維持できなくなる	50.4
3	社会経済活動が縮小され、活気がなくなる	46.4
50～59歳 (n=362)		
1	社会保障費や医療費が増大し、現役世代の負担が増加する	72.4
2	地域活動の担い手が不足し、コミュニティ機能が維持できなくなる	50.3
3	社会経済活動が縮小され、活気がなくなる	49.7
60～69歳 (n=442)		
1	社会保障費や医療費が増大し、現役世代の負担が増加する	76.7
2	社会経済活動が縮小され、活気がなくなる	56.3
3	地域活動の担い手が不足し、コミュニティ機能が維持できなくなる	49.1
70歳以上 (n=511)		
1	社会保障費や医療費が増大し、現役世代の負担が増加する	75.0
2	社会経済活動が縮小され、活気がなくなる	58.1
3	地域活動の担い手が不足し、コミュニティ機能が維持できなくなる	46.4

(7)新型コロナウイルス感染症拡大の影響

コロナ禍の前後において、生活状況の変化についてお聞きしたものを。

- 「増えた」の割合が高い項目は、「キャッシュレス決済」、「家族と過ごす時間」、「自分自身や家族の支出」、「テレワークやオンライン会議・授業・講座等」、「SNS を利用した交流」など。
- 「減った」の割合が高い項目は、「友人・知人等と会う機会」、「外出する機会」、「運動・スポーツや文化活動の機会」、「自分自身や家族の収入」、「仕事の量や時間」など。



【職業別クロス集計(上位 5 項目)】※不動産業(n=3)除く

自分自身や家族の収入

増えた			減った		
1	学生	5.3	1	サービス業	38.7
2	医療関係	4.0	2	その他	38.2
3	家事専業	2.6	3	学生	35.1
4	建設・土木業	2.4	4	卸売・小売業、飲食店	34.9
5	製造業	2.4	5	運輸・通信業	32.3

自分自身や家族の支出

増えた			減った		
1	サービス業	29.6	1	団体職員・公務員	26.8
2	運輸・通信業	26.2	2	電気・ガス・水道業	23.3
3	アルバイト・パート	25.4	3	建設・土木業	22.0
4	家事専業	24.6	4	医療関係	21.8
5	製造業	24.0	5	無職	18.3

仕事の量や時間

増えた			減った		
1	医療関係	21.0	1	金融・保険業	34.5
2	団体職員・公務員	20.7	2	その他	30.3
3	製造業	12.2	3	卸売・小売業、飲食店	29.1
4	その他	11.2	4	サービス業	28.9
5	サービス業	10.6	5	農林漁業	25.6

テレワークやオンライン会議・授業・講座等

増えた			減った		
1	学生	70.2	1	農林漁業	18.6
2	金融・保険業	65.5	2	無職	13.6
3	団体職員・公務員	54.3	3	その他	12.4
4	電気・ガス・水道業	33.3	4	家事専業	12.0
5	不動産業	33.3	5	サービス業	9.9

外出する機会

増えた			減った		
1	サービス業	3.5	1	電気・ガス・水道業	93.3
2	無職	2.0	2	金融・保険業	93.1
3	家事専業	1.6	3	建設・土木業	92.7
4	運輸・通信業	1.5	4	団体職員・公務員	90.2
5	建設・土木業	1.2	5	医療関係	89.5

運動・スポーツや文化活動の機会

増えた			減った		
1	学生	5.3	1	電気・ガス・水道業	90.0
2	サービス業	2.1	2	建設・土木業	84.1
3	医療関係	1.6	3	アルバイト・パート	83.5
4	アルバイト・パート	1.3	4	学生	82.5
5	建設・土木業	1.2	5	農林漁業	81.4

キャッシュレス決済

増えた			減った		
1	金融・保険業	75.9	1	農林漁業	16.3
2	団体職員・公務員	65.9	2	その他	6.7
3	サービス業	60.6	3	無職	6.4
4	電気・ガス・水道業	60.0	4	卸売・小売業、飲食店	5.8
5	学生	56.1	5	医療関係	4.0

家族と過ごす時間

増えた			減った		
1	団体職員・公務員	56.1	1	無職	9.9
2	電気・ガス・水道業	53.3	2	建設・土木業	9.8
3	金融・保険業	51.7	3	農林漁業	9.3
4	サービス業	51.4	4	学生	8.8
5	医療関係	50.8	5	卸売・小売業、飲食店	7.0

友人・知人等と会う機会

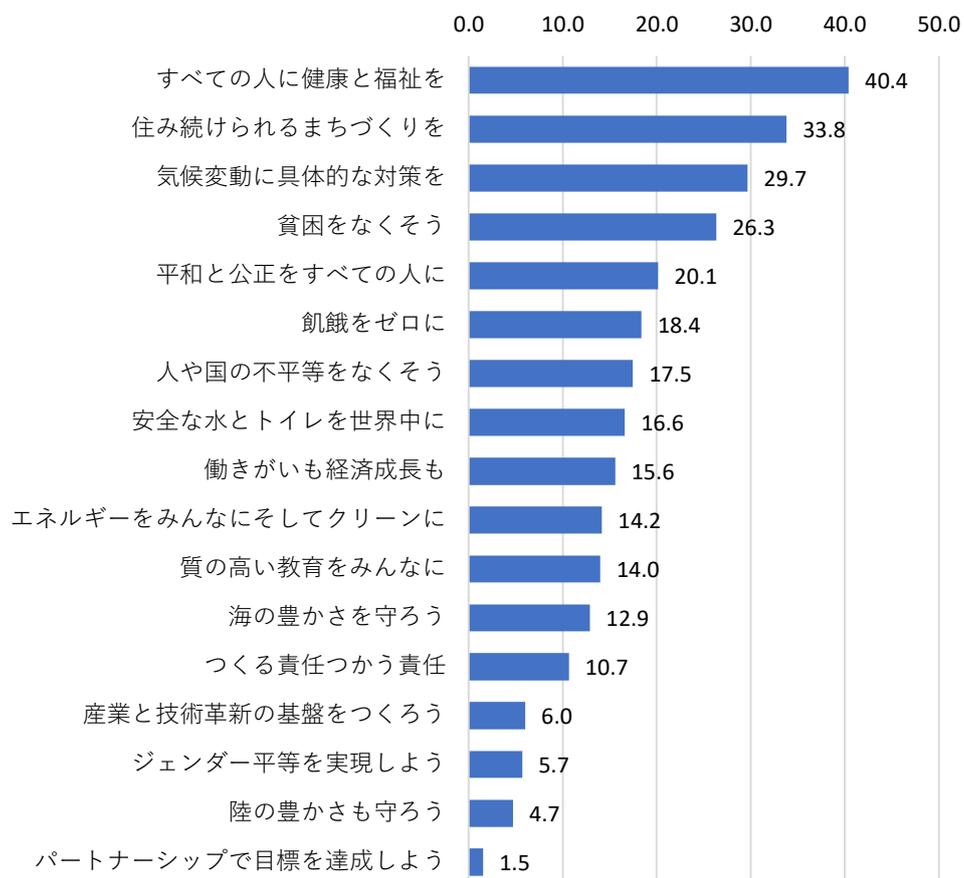
増えた			減った		
1	学生	5.3	1	電気・ガス・水道業	100.0
2	サービス業	2.1	2	金融・保険業	96.6
3	家事専業	2.1	3	建設・土木業	91.5
4	無職	1.0	4	医療関係	91.1
5	アルバイト・パート	0.6	5	アルバイト・パート	90.5

SNS を利用した交流

増えた			減った		
1	学生	40.4	1	農林漁業	20.9
2	金融・保険業	27.6	2	金融・保険業	13.8
3	団体職員・公務員	23.8	3	電気・ガス・水道業	10.0
4	サービス業	21.8	4	製造業	9.8
5	その他	21.3	5	学生	8.8

(8)SDGs への関心

- 「すべての人に健康と福祉を」の割合が最も高く、次いで「住み続けられるまちづくりを」、「気候変動に具体的な対策を」が続く。
- 10代、20代では「人や国の不平等をなくそう」が、30代では「働きがいも経済成長も」、60代では「飢餓をゼロに」がそれぞれ上位5項目に入る。



【年齢別クロス集計】

18～19歳 (n=39)			50～59歳 (n=362)		
1	住み続けられるまちづくりを	30.8	1	すべての人に健康と福祉を	35.6
2	人や国の不平等をなくそう	28.2	2	住み続けられるまちづくりを	32.0
3	質の高い教育をみんなに	25.6	3	気候変動に具体的な対策を	27.3
4	すべての人に健康と福祉を	23.1	4	貧困をなくそう	25.1
5	気候変動に具体的な対策を	23.1	5	平和と公正をすべての人に	21.3
5	平和と公正をすべての人に	23.1	-	-	-
20～29歳 (n=135)			60～69歳 (n=442)		
1	すべての人に健康と福祉を	31.1	1	すべての人に健康と福祉を	41.6
2	人や国の不平等をなくそう	30.4	2	気候変動に具体的な対策を	38.7
3	貧困をなくそう	28.1	3	住み続けられるまちづくりを	32.6
4	住み続けられるまちづくりを	26.7	4	貧困をなくそう	24.4
5	平和と公正をすべての人に	20.7	5	飢餓をゼロに	20.6
30～39歳 (n=231)			70歳以上 (n=511)		
1	すべての人に健康と福祉を	38.5	1	すべての人に健康と福祉を	42.9
2	住み続けられるまちづくりを	35.1	2	気候変動に具体的な対策を	40.1
3	貧困をなくそう	24.7	3	住み続けられるまちづくりを	34.6
4	働きがいも経済成長も	23.4	4	貧困をなくそう	27.0
5	質の高い教育をみんなに	21.6	5	平和と公正をすべての人に	22.3
40～49歳 (n=403)					
1	すべての人に健康と福祉を	41.4			
2	住み続けられるまちづくりを	33.5			
3	貧困をなくそう	26.8			
4	気候変動に具体的な対策を	22.3			
5	平和と公正をすべての人に	18.9			